

ニチアス（株）製繊維混入けい酸カルシウム板を用いた軒裏の 準耐火性能試験における不正受験について

平成19年11月12日
国土交通省
住宅局建築指導課
住宅生産課

1. 概要

- ニチアス（株）が製造した繊維混入けい酸カルシウム板を用いた軒裏及び間仕切壁について、不正な試験体を使用して試験に合格し大臣認定を受けていた構造方法（20件）のうち、必要とされる性能を満足していない旨の届出があった17件については当該認定を取り消し、残りの3件については性能評価機関において準耐火性能の有無を確認しているところですが、当該3件のうち1件の試験結果が判明いたしましたので、その結果及び対応についてご報告いたします。

2. 該当する構造方法（1件）

- 下表に掲げる準耐火構造の軒裏（30分）の構造方法

認定を受けた構造方法の名称	認定番号	認定年月日
化粧有孔パルプ混入セメントけい酸カルシウム板 張／木製下地軒裏	QF030RS - 0025	平成14年8月22日

3. 試験の概要

- 当該構造方法の認定については、軒裏に用いる化粧有孔パルプ混入セメントけい酸カルシウム板の材料の厚さが10mmから18mmの範囲で認定されており、11月9日に指定性能評価機関において、最小厚である10mm厚の材料で試験が実施され、不合格でありました。
- また、11月1日に指定性能評価機関において、11mm厚の材料で試験が実施され、30分間の準耐火性能を有することが確かめられました。

4. 国土交通省の対応

- (1) この構造方法についての大員認定の取消し及び材料の厚さが11mm以上の軒裏についての新たな大臣認定
- 2の表に掲げる構造方法については、ニチアス（株）から準耐火性能を満足しない旨届出があったため、当該認定を本日付けで取り消す。
 - 当該認定の仕様のうち、材料の厚さが11mm以上の構造方法については、新たに認定を行う。

認定を受けた構造方法の名称	認定番号	認定年月日
化粧有孔パルプ混入セメントけい酸カルシウム板 張／木製下地軒裏	QF030RS - 0097	平成19年11月12日

- この結果、材料の厚さ10mmの軒裏が使用された建築物は建築基準法令に不適合、材料の厚さ11mm以上の軒裏が使用された建築物は建築基準法令に適合することになります。
- 現在のところ、これまで使用された材料はすべて厚さ11mmであると、ニチアス（株）から報告を受けており、この11mm厚の材料が使用された建築物は建築基準法令に適合することになります。

(2) ニチアス（株）への対応

・国土交通省より、ニチアス（株）に対して、次のことを指示する。

- ① 2の表に掲げる構造方法の認定が取消された旨及び4（1）の表に掲げる構造方法が新しく認定を受けた旨を、取引先等の関係者に対して早急に周知徹底すること。
- ② 2の表に掲げる構造方法について、化粧有孔パルプ混入セメントけい酸カルシウム板の厚さごとの使用実績及び納品先を報告すること。
- ③ 今回の不正受験の原因究明を行い、再発防止策を検討し、国土交通省に報告すること。
- ④ 相談窓口で適切に対応すること。

(3) 指定性能評価機関への対応

・国土交通省より、準耐火性能試験を行った指定性能評価機関に対して、今回の不正受験の原因究明及び再発防止策の検討を行い、その結果を国土交通省まで報告するよう指示する。

(4) 地方公共団体・指定確認検査機関への対応

・国土交通省より、特定行政庁・指定確認検査機関に対して、建築確認の審査中の物件について、当該軒裏（QF030RS-0025）が使用されていることが明らかになった場合は、当該物件の申請者たる建築主に対して適合するかどうかを決定することができない旨の通知書を発出し、追加説明書として新しい認定（QF030RS-0097）に係る認定書の写しの提出を求めること。

(5) 住宅居住者への情報提供や相談の実施

・当該軒裏を使用した住宅については、住宅居住者への情報提供を行うために、関係団体等に対し周知するとともに、（財）住宅リフォーム・紛争処理支援センターの窓口において相談に対応する。

【（財）住宅リフォーム・紛争処理支援センターの窓口】

電話番号：03-3556-5147

相談時間：午前10時～12時、午後1時～5時（土日除く。）

残りの2件については、引き続き、性能評価機関において性能評価試験を行い、準耐火性能の確認を早急に行うとの報告を受けており、その結果を確認した上で必要な措置を講じる。

また、今後、同社からの原因究明や再発防止策についての報告等を踏まえ、法令遵守のための必要な措置を講じるとともに、同様の不正受験が起こらないように再発防止策について、検討することとしたい。

問合せ先

国土交通省住宅局建築指導課 課長補佐 小野田 吉純 （内線 39-563）

代表 03-5253-8111 夜間直通 03-5253-8514

【参考資料1：ニチアス（株）が不正受験によって認定を受けた構造方法】

(1) 認定の取消しが行われた構造方法

認定を受けた構造方法の名称	認定番号	認定年月日	認定取消し日
準耐火構造の部（30分）			
通気見切り金物付化粧繊維混入セメントけい酸カルシウム板張／中空木造下地軒裏	QF030RS - 0010	平成13年10月10日	平成19年11月9日
化粧有孔バルブ混入セメントけい酸カルシウム板張／木製下地軒裏	QF030RS - 0025	平成14年8月22日	平成19年11月12日
塗装溶融アルミニウムめっき鋼板製通気見切り金物・化粧バルブ混入セメントけい酸カルシウム板張／木製下地軒裏	QF030RS - 0031	平成14年10月25日	平成19年10月30日
塗装溶融アルミニウムめっき鋼板製通気見切り金物・化粧繊維混入けい酸カルシウム板張／木製下地軒裏	QF030RS - 0042	平成15年9月27日	平成19年10月30日
化粧溶融亜鉛めっき鋼板製通気見切り金物・化粧繊維混入けい酸カルシウム板張／木製下地軒裏	QF030RS - 0045	平成15年9月3日	平成19年10月30日
化粧溶融亜鉛めっき鋼板製通気見切り金物・化粧繊維混入けい酸カルシウム板張／木製下地軒裏	QF030RS - 0066	平成17年8月8日	平成19年10月30日
準耐火構造の部（5分）			
通気見切り金物付化粧繊維混入セメントけい酸カルシウム板張／木造下地軒裏	QF045RS - 0012	平成13年11月9日	平成19年10月30日
塗装溶融アルミニウムめっき鋼板製通気見切り金物・化粧繊維混入けい酸カルシウム板張／木製下地軒裏	QF045RS - 0036	平成15年2月28日	平成19年10月30日
塗装溶融アルミニウムめっき鋼板製通気見切り金物・化粧繊維混入けい酸カルシウム板張／木製下地軒裏	QF045RS - 0041	平成15年3月27日	平成19年10月30日
化粧溶融亜鉛めっき鋼板製通気見切り金物・化粧繊維混入けい酸カルシウム板張／木製下地軒裏	QF045RS - 0046	平成15年9月3日	平成19年10月30日
化粧溶融亜鉛めっき鋼板製通気見切り金物・化粧繊維混入けい酸カルシウム板張／木製下地軒裏	QF045RS - 0065	平成17年8月8日	平成19年10月30日
準耐火構造の部（6時間）			
通気見切り金物付化粧繊維混入セメントけい酸カルシウム板張／木製下地軒裏	QF060RS - 0015	平成14年4月15日	平成19年10月30日
塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板製通気見切り金物・化粧バルブ混入セメントけい酸カルシウム板張／鋼製下地軒裏	QF060RS - 0026	平成14年8月22日	平成19年10月30日
塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板製通気見切り金物・化粧繊維混入けい酸カルシウム板張／鋼製下地軒裏	QF060RS - 0038	平成15年2月28日	平成19年10月30日
塗装溶融アルミニウムめっき鋼板製通気見切り金物・化粧繊維混入けい酸カルシウム板張／木製下地軒裏	QF060RS - 0040	平成15年3月27日	平成19年10月30日
塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板製通気見切り金物・化粧繊維混入けい酸カルシウム板張／鋼製下地軒裏	QF060RS - 0057	平成16年6月23日	平成19年10月30日
耐火構造の部（1時間）			
両面繊維混入けい酸カルシウム板・せっこうボード張／中空軽量鉄骨下地間仕切壁	FP060NP - 0002	平成13年2月15日	平成19年10月30日
両面化粧繊維混入けい酸カルシウム板・繊維混入けい酸カルシウム板張／中空軽量鉄骨下地間仕切壁	FP060NP - 0005	平成13年3月23日	平成19年10月30日

平成19年11月12日現在、上記の表に掲げる構造方法については、すべて当該認定を取り消されている。これらのうち、11月12日付けで認定の取消し対象となったのは、太枠で囲まれている構造方法（QF030RS-0025）の1件のみである。

(2) 今後、性能評価試験を行う構造方法

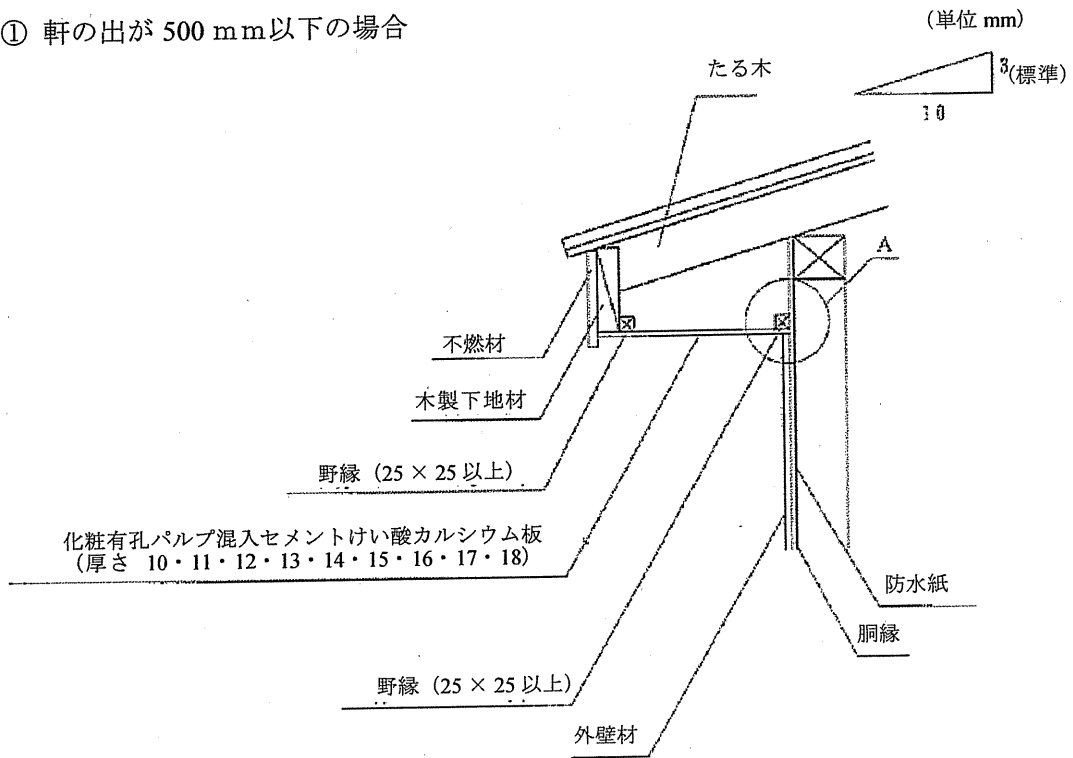
認定を受けた構造方法の名称	認定番号	認定年月日
準耐火構造の部（30分）		
塗装溶融アルミニウムめっき鋼板製通気見切り金物・化粧繊維混入けい酸カルシウム板張／木製下地軒裏	QF030RS - 0037	平成15年2月28日
化粧有孔繊維混入けい酸カルシウム板張／木製下地軒裏	QF030RS - 0039	平成15年2月28日

上記の表に掲げる構造方法の認定については、ニチアス（株）が自主試験を行ったところ、認定上必要な準耐火性能を満足しているため、早急に性能評価機関において性能評価試験を行い、準耐火性能の確認を行うとの報告を受けている。国土交通省としては、これらの構造方法等の認定については平成19年11月12日付けの取消しの対象とはせず、ニチアス（株）からの報告を受けて必要な措置を講じることとする。

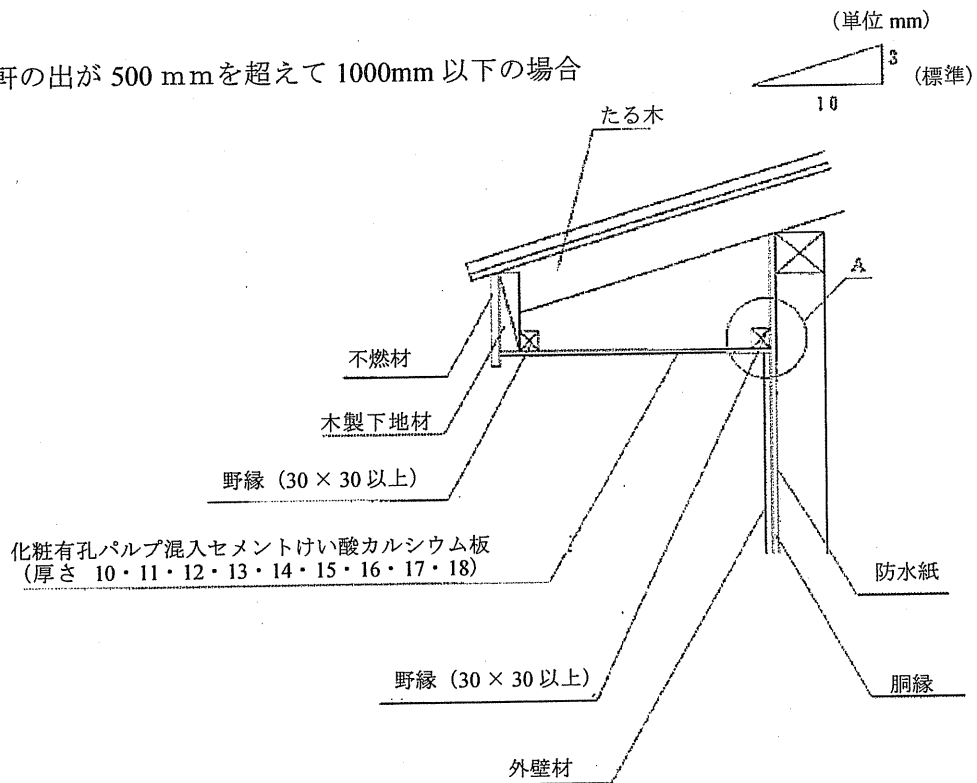
【参考資料 2：当該認定を受けている構造方法】

・鉛直断面図

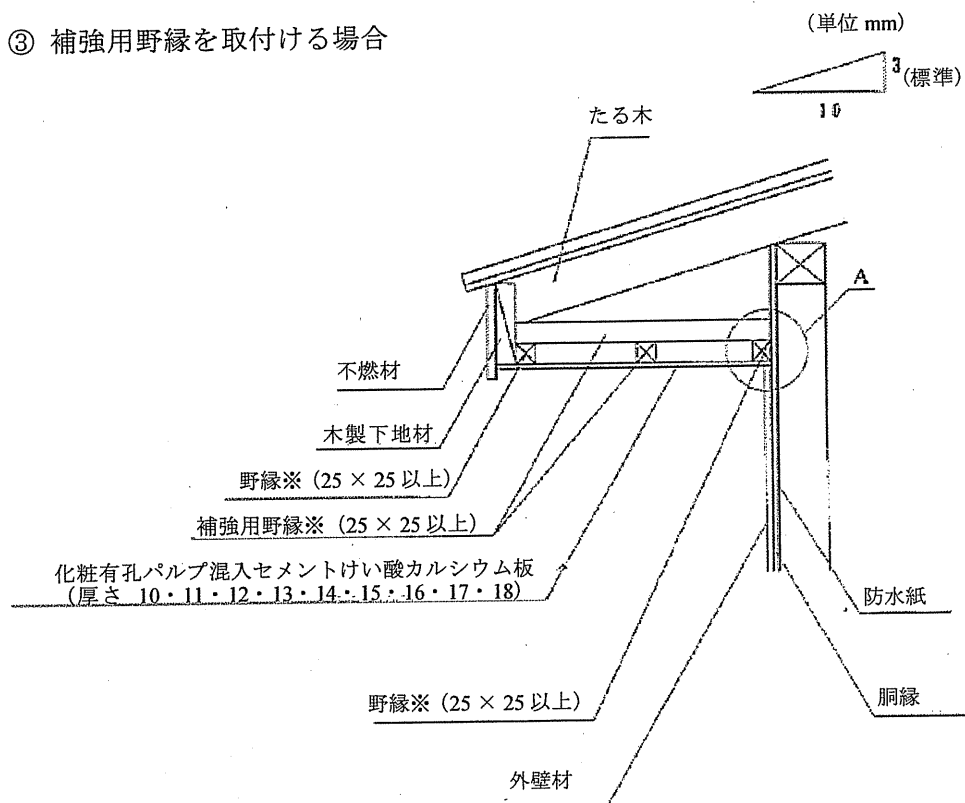
① 軒の出が 500 mm 以下の場合



② 軒の出が 500 mm を超えて 1000 mm 以下の場合



③ 補強用野縁を取付ける場合



※軒の出が 500mm を超えて 1000mm 以下の場合、野縁及び補強用野縁の断面寸法は 30 × 30mm 以上とする。

【参考資料3：当該認定を受けている構造方法】

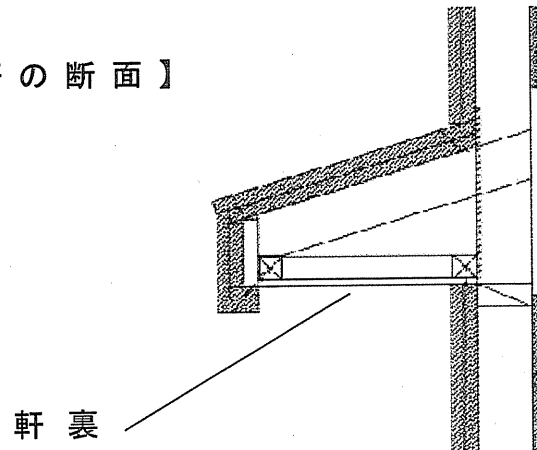
○繊維混入けい酸カルシウム板：

けい酸質材料を主原料とし、無機繊維を混入して成形した板。耐火被覆、防火被覆に用いられる不燃材料。(建築大辞典・第2版、彰国社)

○軒裏：

軒の下面。

【軒の断面】



○準耐火構造：

通常の火災による延焼を抑制するための性能を有する構造方法。壁、柱、軒裏等について、当該性能を満たすためには、告示において規定される構造方法又は国土交通大臣の認定を受けた構造方法のいずれかに適合する必要がある。

○指定性能評価機関：

国土交通大臣が行う構造方法等の認定のための審査に当たって必要となる、高度な検証方法（性能評価）を実施する機関。国土交通大臣の指定によって定められる。